



指導する赤津有美さん

冬休み期間中の1月9日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部と矢沢地域振興会の共催事業「成島和紙でガーランドづくりをしよう!」が矢沢振興センターで開催されました。

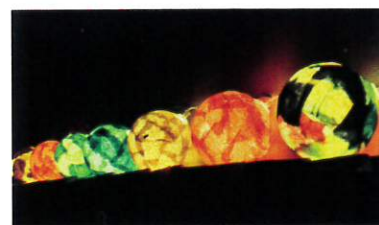
ガーランドとは、花や植物などを編んで作ったひも状の装飾で、壁に沿って飾ったり、天井から吊るすように飾ったり、部屋全体を華やかにすることが出来ます。矢沢小学校1～6年生の児童や保護者、老人クラブの皆さん、スタッフなど総勢48名で、花巻市地域おこし協力隊の赤津有美さんのご指導のもと、「成島和

ガーランドづくりで世代間交流

冬休み期間中の1月9日、

紙を使ったガーランドづくりに挑戦しました。

選んだ成島和紙を、自由にちぎって貼り付けて作ります。単純な作業なのですが、色の組み合わせに悩んだり、和紙をちぎることに苦戦したりと、夢中になって作業を進めていきました。作業をしながらグループ内での会話も増えていき、終了時間が迫る中、協力しながら完成を目指すグループもありました。完成したガーランドにあかりを灯すと、



「うわー!」「きれい!」と歓声が上がりました。

昨年に引き続き、2回目となった冬休み特別コラボ企画!モノづくりに熱中した世代間交流はやさしいあかりで溢れた一日となりました。



わが自治会

活動の紹介

古舘自治会会長 押切 秀一



コロナ禍で人が集まることができず活動がままならない状態でしたが、令和5年から少しずつ従前行われていた活動を始めます。

まずは春祈禱です。2月に高木岡神社と古峯神社のお札を祀る神事を行い1年の平穏無事を祈り、その後直会を行っています。

次に火防祭です。自治会総会后、神楽を奉納して火災防止の誓いを立てる行事で、当日は高木寺の火防祭に自治会長が参加し、その後地区の神様を拝む形式で行われておりましたが、現在は若干形を変えて行っております。

しかし、参加者の固定化・減少が以前から始まっており、この問題の改善策として令和5年から子供会と共催して夏祭りを開催しています。地区の宝である子供を中心として活動するとお母さん・お父さん・お婆ちゃん・お爺ちゃんも参加してくれ、とても賑わいのあるものとなり、「こんなに子供がいたんだ。笑い声が聴けるのは楽しいね。」との声もあり、その声に背中を押さ

れ6年も開催し盛況でしたので、継続して開催したいと考えているところです。

そして高木第二区の運動会です。これは上台・下通り・古舘の3自治会合同で高木第二行政区体育振興協会が主体となつて2年に一度行うもので、総合優勝・種目別優勝等を設けてポイント制で競うものでしたが、参加者の体力年齢等を考慮して、6年はニュースポーツも取り入れて少しずつ内容が変化しており、多くの地区民の参加が期待されるそうです。

今後は宮沢賢治さんの世界観とはいきませんが、矢沢地区全体が幸福にならなくては、地区民の幸せはないくらいの気持ちで、お互い様・お陰様の精神で自治会活動を推し進めたいと思っております。



わが同好会の紹介②
愛唱歌を歌う会

代表 川村照子

私たち愛唱歌を歌う会では、月一回第2金曜日10時から11時30分まで矢沢振興センター大広間のピアノを利用して練習しています。

日々の出来事とかを話しながら、季節の歌、懐かしい歌、昭和の歌謡曲とか、楽しみな

ながらやっています。時間の取れる方は一回来てみては如何ですか？いつでも歓迎します。



ニユースポーツを通じ
交流と親睦

1月26日、ニユースポーツ

推進部会（伊藤昇部会長）では、矢沢振興センター講堂で行政区対抗のニユースポーツ交流会に選手、主催者、スポーツ推進委員等総勢55名の参加で開催。当日は8行政区が参加し、シャフルボードとデスゲッターの2種目に寒さを吹き飛ばす熱戦が年代・地域の枠を超えて繰り広げられました。

結果は、シャフルボードは高木第二行政区、デスゲッターは幸田行政区が優勝。総合結果は下表の通りです。



石川直子さんの指導により念入りに準備体操

総合順位表

順位	行政区
1	幸田
2	高木第一
3	高木第二
4	東十二丁目
5	高木小路
6	高木第三
7	高松第二
7	高松第三



幸田チームの親子さんに
大会長より優勝の賞状授与



若き力が爆発！



競技前にシャフルボードの
ルール説明する部会委員

トピックス
待望の「幸田公民館」完成

幸田公民館が新しくなりました。子供から年配の方までが使い易いバリアフリーとなり、駐車場からポーチまでは緩やかなスロープに、ベビーカーや車いすも利用しやすいです。玄関は段差がなく、中へ進むと誰もが「手洗い・うがい」が直ぐに出来る低めの洗面台があります。また、トイレは男子・女子の他に多目的トイレを設けました。大広間・研修室・調理室の3室はウッドフロアで、窓は大きく部屋全体が明るくなりました。廊下から各部屋に入ることができるほか、3室を仕切る扉を開けて広く利用することが出来ます。



新幸田公民館の全景



明るく効率的な大広間

旧公民館は昭和53年3月に今の場所に建てられ、自治会活動はもちろんのこと「消防団の慰労の場」「婦人会の無尽」「青年会の盆踊り大会」「子供会のお泊り会」等、46年間親しまれてきましたが、雨漏りやシロアリ被害が見受けられ老朽化が進んでいました。これからは今まで以上に、幸田地区民の憩いの場、幸田地区自治会の活動の場、そして各種団体の会議の場として活発な意見交換や行事が行われると期待します。更に、旧幸田農業倉庫を利用していた幸田神楽保存会の皆さんは、今後は新公民館で練習・披露すること、益々の活動・活躍が期待されます。3月9日の新築落成式及び祝賀会に向けて準備を進めているところです。

小学校コーナー

矢沢小学校学習支援 ボランティアの紹介

矢沢小学校では、地域コーディネーター西川富美子さんの企画調整のもとに、学習支援ボランティアとして地域の方々にお出でいただき、子ども達の学習をサポートしていただいております。

今年度はこれまで、運動会の3・4年生祝いの舞で田口守男様、5・6年家庭科（裁縫・ミシン縫い）で小野ヨシノ様、照井敏子様、佐井貞子様、佐藤美枝様、藤本牧子様、



3年生 消防団出前授業の様子



6年生 図画（校舎の水彩画）指導の様子

佐藤ソメ様、西川富美子様、6年生等図画（校舎水彩画）で横田裕子様、4年生工作指導で伊藤輝美様、3年工作（釘打ち）で小原久一様、4年音楽（フルート、チューバ演奏鑑賞）で渡辺恭弘様、岩間朝美様、星野麻記様、1年生昔遊び体験で佐藤忠明様、大森松司様、大木充様、谷川勝志様、小田島英治様、古川征子様、西川富美子様、3年消防団出前授業で佐藤峰樹様ほか3名、5年音楽（和楽器鑑賞教室）と2年国語で平藤まり子様、平藤高雄様にご協力いただきました。

地域の皆様方にサポートしていただくことで、学習がよ

り専門的・体験的で充実したものととなり、子ども達一人ひとりが安全に楽しく活動できています。さらに、子ども達と地域の方が関わることで、会話や笑顔が増え、コミュニケーション力の育成にもつながっています。

ご協力いただいた皆様方に深く感謝を申し上げますとともに、今後も、様々な分野で、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

中学校コーナー

令和6年度 児童生徒栄誉賞

栄光を讃える

今年度の花巻市児童・生徒栄誉賞受賞者が決定しました。矢沢中学校から表彰された生徒は次のとおりです。

（敬称略）

【団体の部】

※丸数字は学年、（ ）内は主な受賞理由

○ソフトボール競技

（岩手県中学校総合体育大会優勝 矢沢・南城合同チーム）

・佐藤 碧海 ③

○硬式野球競技

（日本リトルシニア日本選手権東北大会楽天イーグルスカップ第3位 花巻リトルシニア）

・畠山 大雅 ②
・中野 詩万 ②

○バスケットボール競技

（ベルジョイスカップ第6回岩手県U-15バスケットボール選手権大会

第1位 RISE）

・小原 真奈 ②

【個人の部】

※丸数字は学年、（ ）内は主な受賞理由

・菅原 埜乃 ③

（幸田神楽の伝承）

・小原 菜槻 ③

（幸田神楽の伝承）

・小原 紗菜 ③

（上駒板神楽の伝承）

功績のみならず、これまで積み重ねてきた努力が認められた栄誉賞です。受賞された皆さん、おめでとうございます。

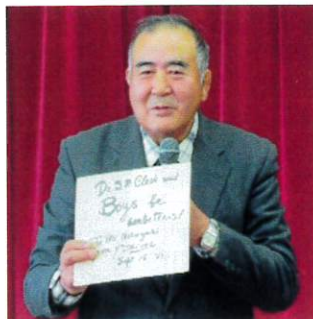


第45期（令和6年度） 明朗大学の参加者数と内容・講師名

第1回 5月21日（70名）
開講式 脳トレ漫談 福々亭ナミ子氏
第2回 6月27日（45名）
宮沢賢治記念館 塩野夕子氏
第3回 7月11日（55名）
えふえむ花巻放送局長 落合昭彦氏
第4回 8月23日（47名）
東日本大震災災害伝承館 遠藤昭三氏
第5回 9月25日（37名）
移動研修・大東町「芦東山記念館」他
第6回 10月25日（38名）
陶芸教室台焼き 杉村峰秀氏
第7回 11月10日（37名）
矢沢地区文化祭ステージ発表
第8回 11月17日（24名）
第15回矢沢伝統芸能伝承大会
第9回 12月9日（36名）
島 善隣恩ぶ会 代表 阿部弥之氏
第10回 2月21日
閉講式 DVD「綾小路きみまろの大爆笑」



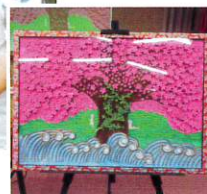
開講式での記念公演：
割烹着の脳トレ漫談 福々亭ナミ子氏
（第1回 5月21日）



リンゴ博士 島善隣先生
没後60年記念講演：阿部弥之氏
（第9回 12月9日）



避難所生まれのアーティストが伝える
震災講話：遠藤昭三氏
（第4回 8月23日）



段ボールアート

明朗大学で生涯学習を！

今年度から明朗大学としてリニューアル。一般募集の入講生は86人。12月までの9講座で延べ389人の方に受講していただきました。来年度も地域情報誌「やまぼろし」で学生募集をいたします。新たなカリキュラムで皆様の受講をお待ちしております。

私のひとこと

胡四王神楽
高校三年生 三浦 彩吹



私は、年長の頃から「神楽」という伝統芸能を行っています。

私が神楽を始めたきっかけは、姉や兄がやっている姿を見てかっこいいと憧れを持ち、自分もやってみたいと感じたことがきっかけです。

当初は、自分が幼かったこともあり、お面に恐怖心を抱くこともありましたが、徐々に慣れていき小学校高学年にはお面をつける演目も出演したいと目標を持つようになりました。



しかし、中学に入り始めた頃、新型コロナウイルスが流行し、神楽を披露する機会が減り、思うように活動できない期間が続きしました。規制が緩和された今では、コロナ以前のようには舞台に立つ機会も増え2024年には鎌倉での岩手郷土芸能祭に出演することができました。

今までの歴史や人との繋がりがあることによって舞台に立てたのだと思います。進学するため地元を離れませんが、胡四王神楽のメンバーの一員として活動を続けていきたいと考えています。今まで関わってきた方々への感謝の気持ちを忘れず、伝統を受け継ぎ自分が指導者として立てるよう努力を続けていきます。

【編集後記】

令和7年がスタートしました！今年には昭和100年という節目の年でもあります。ここ数年「昭和レトロ」という言葉をよく耳にするようになりました。昭和のファッションや音楽など、「古くてダサイ」と思われていたようなスタイルが再び脚光を浴びています。10年ひと昔とはよく言いますが、100年ともなると逆に新しさを感じるのかもしれないですね。今年の干支は巳・ヘビ。再生や繁栄の象徴、守り神として世界で信仰の対象にもなってきました。暖かくなると我が家にはよくヘビが出現します。庭でニョロニョロしていたり、薪の隙間に潜んでいたりと、車の陰で涼んでいたりと、できればお会いしたくないと思っていました。気持ち悪いと改めないとですね。家を守ってくれてありがとう！と。初詣で大吉を引き当てた私。脱皮するほど大きく成長する1年になったらしいなあと考えています。ヘビだけに…。

広報委員 押切和美

